

問1 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

1. 公地公民 2. 戸籍 3. 租庸調 4. 班田収授法

問2 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 大仏様 2. 和様 3. 左右対称 4. 禅宗様

問3 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？

1. 大海人皇子 2. 大友皇子 3. 聖徳太子 4. 中大兄皇子

問4 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？

1. 阿倍仲麻呂 2. 吉備真備 3. 菅原道真 4. 小野妹子

問5 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 班田収授法 2. 口分田 3. 公地公民 4. 租庸調

問6 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？

1. 養老律令 2. 十七条の憲法 3. 大宝律令 4. 大化の改新

問7 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 平安文化 4. 飛鳥文化

問8 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 冠位十二階 2. 御成敗式目 3. 十七条の憲法 4. 大宝律令

問9 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 天武天皇 3. 持統天皇 4. 文武天皇

問10 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 仏教文化 4. 鎌倉文化

問11 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？

1. 大宰府 2. 平泉 3. 平城京 4. 平安京

問12 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？

1. 興福寺 2. 東大寺 3. 薬師寺 4. 法隆寺

問13 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？

1. 地頭 2. 御家人 3. 渡来人 4. 守護

問14 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？

1. 国風文化 2. 飛鳥文化 3. 白鳳文化 4. 天平文化

問15 中大兄皇子とともに飛鳥時代に権力を握り、天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？

1. 藤原氏 2. 源氏 3. 平氏 4. 蘇我氏

問16 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？

1. 儒教 2. 仏教 3. 神道 4. 道教

答え合わせ・解説

問1	答え 2 戸籍	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。これにより、誰がどこに住んでいて、どのくらいの労働力があるのかを国が管理できるようになりました。これにより、徴兵や税の徴収がスムーズに行える体制が整えられました。
問2	答え 3 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ること、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問3	答え 1 大海人皇子	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。この勝利により、古代日本において天皇の権威を確立する重要な役割を果たしました。
問4	答え 4 小野妹子	小野妹子は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。当時の隋の皇帝である煬帝に、天皇の親書（「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」で始まるもの）を手渡し、対等な関係を要求しました。彼はこの命がけの外交を通じ、大陸の優れた文化や法律制度を日本へ持ち帰りました。
問5	答え 3 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問6	答え 2 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。「和をもって貴しとなす」といった協調の精神や、天皇に仕える者としての自覚、公正な政治を行うことなどが記されています。
問7	答え 4 飛鳥文化	「飛鳥文化」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。建築、彫刻、絵画などにおいて大陸の様式が積極的に取り入れられ、高度な技術が伝えられました。
問8	答え 1 冠位十二階	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。これにより、家柄にとらわれない公正な人事を行い、天皇を中心とした国家運営を支える官僚組織を目指しました。
問9	答え 2 天武天皇	天武天皇は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。また、歴史書である『日本書紀』の編纂を命じ、富本銭の鑄造を行うなど、国の基盤整備に力を注ぎました。
問10	答え 3 仏教文化	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。中国の南北朝時代や朝鮮半島の文化の影響を強く受けており、大陸風の優美な建築や彫刻が特徴です。法隆寺などの寺院が代表的です。
問11	答え 1 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問12	答え 4 法隆寺	法隆寺は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録された歴史的建造物であり、釈迦三尊像などの飛鳥彫刻の名品も多く収められています。
問13	答え 3 渡来人	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。特に白村江の戦いの後の防衛施設建設や、寺院の建立には彼らの技術が不可欠でした。
問14	答え 2 飛鳥文化	飛鳥文化は、法隆寺などの寺院建築や、釈迦三尊像のような仏像に見られる彫刻に特徴があります。これらは朝鮮半島を経由して伝えられた大陸の文化の影響を強く受けており、当時の人々の信仰心や芸術的な感性が結実したものです。
問15	答え 4 蘇我氏	蘇我氏は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。しかし、独裁的な権力を振るったことで他の豪族や天皇家との対立を深め、最終的には不満を持つ中大兄皇子や中臣鎌足らによって倒されることとなりました。
問16	答え 1 儒教	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。聖徳太子が制定した十七条の憲法では、仏教を尊ぶ姿勢とともに、この儒教的な上下関係の秩序を取り入れることで、役人たちが天皇に仕えるべき規範を示しました。